



『ぞろりぞろりとやさいがね』

ひろかわ さえこ/作 (借成社)



だいどころ 台所の片隅で、すっかり古くなつた野菜たち。月夜の晩に、「もう、がまんできない!」と、ぞろりぞろりと出かけます。さて、どこに行くのでしょうか? 食べ物を大切にしたいくなる絵本。

『なんでもおんなじ?』

コリンヌ・アヴェリス/作 スーザン・バーレイ/絵
前田 まゆみ/訳(フレーベル館)



りすのソレルとセージは、すきな歌も、しっぽの模様も、なんでも同じ。でもある日、ソレルはふたりの違うところを知ってしまい…。はじめての友だちに、ちょっぴり不安を感じている子の背中をそっとおしてくれる絵本。

『100円たんけん』

中川 ひろたか/ぶん 岡本 よしろう/え(くもん出版)



100円あったら、なにが買える? 子どもたちにとって身近な値段「100円」で買えるものをくらべてみよう。名づけて、100円たんけん! お金のみかたがちよっと変わる、はじめてのお金絵本。

『むかしむかしとらとねこは…』

大島 英太郎/文・絵(福音館書店)



昔、虎はのろまで獲物を捕るのが下手でした。そこで虎は、猫から上手に獲物を捕る方法を教えてもらいます。猫が知っているすべての技を身につけた虎は、最後に知りたいたいことがあると言って…。虎の生態からつくられた中国の話。

『やさしいかいじゅう』

ひさまつ まゆこ/さく・え(富山房インターナショナル)



森の奥に住んでいるかいじゅうは、みんなから怖がられ、さびしくて毎日泣いていました。ある日、かいじゅうは小さな木の芽と出会い、友達になります。やがて木の芽は大きな木になって…。

『わたしのそばできいていて』

リサ・パップ/作 菊田 まりこ/訳(WAVE出版)



マディは字を読むことが苦手。国語の時間に音読をあてられてもうまく読めません。つかえるたび、まちがえるたびに、クラスの子がくすくす笑う声が聞こえて、にげだしたくなるのです。そんなとき図書館で1匹の犬と出会い…。

『さかなだってねむるんです』

伊藤 勝敏/写真 嶋田 泰子/文
瀬能 宏/監修(ポプラ社)



からだの色を変えたり、砂にもぐったり、イソギンチャクに隠れたり、すきまにもぐりこんだり…。安心して眠るためには、作戦が大事です。魚たちがどこで、どんな風に眠っているかを、写真で紹介します。

『一さつのおくりもの』

森山 京/作 鴨下 潤/絵(講談社)



おおあめ大雨がふり続いたせいで、クマタのすむ町の山のむこうの村が水びたしに。困っているこどもたちに何かしてあげたくて、クマタはいちばん大切にしていた絵本を贈ることにしましたが…。



『おかわりへの道』

山本 悦子/作 下平 けーすけ/絵 (PHP研究所)



りょうた先生が給食のあまったごはんをつくってくれるおむすびを、一度でいいから食べてみたいと思っていたかすみ。食べるのが遅くていつも食べられないかすみは、おむすびを食べるため、作戦会議をはじめ…。

『しまうまのたんけん』

トビイ・ルツ/作・絵 (PHP研究所)



さばく しろ おうさま
砂漠のお城の王様から、見つけたら幸せになれると言われている「まぼろしのどうぶつ」のことを聞いたしまうまの子どもは、探検に出発しました。最初に発見したのは…?

『すずめのおくりもの』

安房 直子/作 菊池 恭子/絵 (講談社)



はたら とても働きやさんのおとうふ屋さんのところに、ある朝たくさんのすずめがやってきて、小さいおとうふ一丁作ってくださいと言います。すずめのかわいい恩返しまで読んだときには、すっかりおとうふの作り方もわかるようになっていきます。

『ちょっとおんぶ』

岩瀬 成子/作 北見 葉胡/絵 (講談社)



ある日、つきちゃんは地面の盛り上がりにつまずいて転んでしまいました。すると、地面の中から「ちえつ」と、小さい声が聞こえてきて…。動物の音が聞こえる女の子つきちゃんのお話。

『ぼうけんはバスにのって』

いとう みく/作 山田 花菜/絵(金の星社)



2年生のタクが、高速バスに乗って、山梨のばーちゃんの家に行くことになった。それも、ひとりです！ドキドキワクワクのバスの旅の中、タクはうっかり寝てしまい…。無事に着けるかな？

『ぼく、ちきゅかんさつたい』

松本 聡美/作 ひがし ちから/絵 (出版ワークス)



トモヤはおじいちゃんと「地球観察隊ごっこ」をしている。まわりのものをしっかり観察して、発見したことを隊長のおじいちゃんに報告するのがトモヤの仕事。小さな発見を分かち合うよろこびを通じてトモヤが成長する姿を描く。

『ペットのきんぎょがおならをしたら…?』

マイケル・ローゼン/作 トニー・ロス/絵
ないとう ふみこ/訳 (徳間書店)



こいぬ ほ 子犬が欲しかったエルビーは、ママが連れ帰ってきた金魚に「フワフワ」という名前をつけ、芸をしこむことに。するとフワフワは、お尻から泡を出すようになって…。おならの芸で世界一有名になる金魚のゆかいな物語。

か だ ちゅう ほん
貸し出し中の本は

よやく
予約もできます。

くわしくは職員に

おたずねください。

